

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年11月19日

計画の名称	宇部市中心市街地における賑わいの創出と居住環境の向上（第 期）												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	宇部市												
計画の目標	老朽建築物の除却や公共施設整備を行い、防災面の改善と建物再築の手法の検討により再築を促し、定住人口の回復と商業の活性化を図ることを目的としている。												
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	122	A	122	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値	最終目標値 (H31末)
1	老朽建築物の過密状態を緩和するために事業区域内における老朽建築物の除却率を40.7%から66.1%へ拡大 老朽建築物の除却率 除却された老朽建築物棟数 / 区域内における事業着手時の建物棟数	41%	%	66%
2	北東から南西方向のアクセスが脆弱な地区内中央部に通り抜け道路を新設する。(L=61m) 道路整備率 整備延長 / 計画整備延長	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	宇部市	直接	宇部市	-	-	中央町地区住宅市街地総合整備事業	密集市街地の整備・1ha 建物除却15棟	宇部市						122		未策定	
	A16-002	住宅	一般	宇部市	間接	宇部市	-	-	中央町地区住宅市街地総合整備事業	市街地住宅等整備	宇部市						0		-	
												小計						122		
												合計						122		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
社会資本総合整備計画【宇部市中心市街地における賑わいの創出と居住環境の向上（第 期）】事後評価委員会にて事後評価を実施	令和2年11月
	公表の方法 市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽建築物の除却により過密状態が緩和され、防災面の改善が図られた。 ・地区内中央部の通り抜け道路を整備したことにより、アクセスの脆弱性が解消された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・現況に合わせ見直しを行い、社会資本総合整備計画（第 期）を策定し、住宅市街地総合整備事業を引き続き実施し、令和6年度の完成を目指している。 ・土地及び建物の権利関係の整理を進めることにより、老朽建築物の除却及び道路整備を促進する。 ・権利者の合意形成を図りながら、民間事業者による建替えを促進する。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	指標（老朽建築物の除却率）	
	最終目標値	66%
	最終実績値	52%
2	指標（北東から南西方向通り抜け道路の整備率）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%